

第3学年〇組 学級活動（1）指導案

令和2年11月 〇日（〇）第〇校時
活動場所 3年 〇組教室（在籍〇名）
指導者 教諭 〇〇 〇〇

1 議題 「オリジナル音楽を楽しもう会をしよう」

2 議題について

（1）児童の実態

本学級の児童は子供らしく明るく活発で、学級活動においても、様々な意見を積極的に出すことができる児童が多い。その一方で、情緒面、学習面、生活面について個別の支援や配慮が必要な児童や、自己中心的な言動をしてしまう児童も複数いる。これまで共に過ごす中で、お互いの内面に対する理解を深め、少しずつ学級としての結束力が高まってきている。休み時間には、レク係の声かけで鬼ごっこをしたり、毎日の帰りの会では、友達の頑張りや優しさを認め合ったりする姿が見られる。10月に行われたスポーツ大会では、力を合わせて全力で本番に臨み、練習の成果を発揮し、学級としての達成感を味わうことができた。現在も個人や学級に関する課題は多くあるが、児童も、「友達と良い関係を築きたい」「クラスをよりよくしたい」という思いを持ち、学級全体で良い方向に進めるよう努力をしている。

これまで本学級では「2学期がんばろう祭りをしよう」、「〇〇さん(転入生)ようこそその会を開こう」「紙飛行機コンテストをしよう」、「スポーツ大会頑張ったね会をしよう」などの議題で学級会を開き、決まったことを実行してきた。話し合い活動では、計画委員が基本的な流れや仕事を理解して動き、活発に意見を交換できるものの、「もし〜だと嫌だ。」というようなマイナス思考の発言が出ることで、なかなか決定することができないことがあった。そのため、決定に向けた賛成意見を中心に「もし〜だと良い。」といった前向きな意見で話し合いを進めていくことを意識させてきた。さらに、自己中心的な考えのまま発言をしてしまう児童も見られるため、自分だけでなく、「クラスにとってよいものは何か」という視点を意識させる指導をしてきた。話し合いをスムーズに進めるために、計画委員には、出された意見を分類したり、決定されなかった意見を生かしたりする方法を指導し、自分たちで考えて臨機応変な司会進行ができることを目指しているところである。

（2）議題選定の理由

本議題は、コロナウイルス感染防止の影響で、本年度は中止となってしまった校内音楽会に代わる集会を自分たちの手で開きたいという思いから提案されたものである。他にも「ミニオリンピックを開こう」「秋まつりをしよう」「係発表会をしよう」などの提案もあったが、計画委員で検討した結果、音楽会はコロナウイルスによりできなかった、とするのではなく、クラスの皆のアイデアや工夫で、オリジナルの音楽を楽しめる会をつくってみたいという願いと、この時期にあっているということからも本議題が選定された。

3 研究主題との関わり
(1) 研究主題

自分も相手も大切にできる児童の育成

～「自分もよくみんなもよいこと」を話し合う学級活動（1）を通して～

(2) 目指す児童像

- ・話し合いを通して合意形成を図り、協力して準備・実践し、成長を実感できる子
- ・自分のよさに気づき、相手のよさを認め、伝え合える子

(3) 目指す児童像に近づくための手立て

①的確な教師の助言や支援

- ・学級会ノートに書いた意見を事前に目を通し、より提案理由に迫る意見へと深めるよう、助言をしたり、励ましのコメントを入れて自信をもって発言できるようにしたりする。
- ・計画委員とともに、挙がった意見を予め、内容毎に分類しておき、円滑に学級会を進められるようにする。

②意見が対立したとき、意見をまとめるときの合意形成の図り方

- ・合意形成の例示「こんなときどうする!？」を活用することで、自分もよくてみんなもよい決定ができるようにする。
- ・反対の意見の理由に注目し、解消できるような話し合いになるよう助言する。

③事後の活動まで見通した「段取る」力の育成

- ・実践活動までの期間や行事等を記したカレンダーを掲示し、準備期間についてのイメージの共有化を図る。
- ・実践活動のプログラムを掲示し、実際の実践活動の流れや時間等を意識して、話し合いが進められるようにする。

4 第3学年及び第4学年の評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身につけている。	楽しい学級生活をつくるために問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。	楽しい学級生活をつくるために見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。

5 事前の活動

日時 活動の場	児童の活動 ○計画委員会 ●全員の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿◎ 【観点】(評価方法)
11/9(月) 朝の会	●議題の決定	・全員が学級の課題を意識するために、学級全体で議題について話し合い、決定する。	◎音楽を楽しもう会への見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 【主体的態度】 〈学級会ノート〉 ◎クラス全員で音楽を通して楽しめる集会の内容を学級会ノートに書いている。 【思考・判断・表現】 〈学級会ノート〉
11/10(火) 昼休み	○役割分担 提案理由の明確化	・学級の課題と、課題解決の具体的な方法、実践後の集団の変容が提案理由に明記できるよう、助言する。	
11/11(水) 昼休み	○活動計画の作成	・話合いの様々な状況を想定できるように助言する。	
11/12(木) 5時間目	●学級会ノートに自分の意見を記入する。	・めあてや決まっていることを全体で把握した上で記入できるように助言する。	
11/13(金) 学級の時間	●教師のコメントの入った学級会ノートを受け取る	・学級会で自信をもって発表できるように、励ましの言葉を入れる。	
11/16(月) 20分休み	○出された案の整理	・会の見通しや予測を立てられるように、それぞれの意見に目を通すよう助言する。 ・クラス全体が見通しをもって学級会に取り組めるようにする。挙げた意見を短冊に書き、掲示する。	
11/16(月) 昼休み	○児童の活動計画の作成 学級会コーナーの整備		
11/17(火) 学級の時間	●出された案の質問回答	・全員が共通のイメージをもてるよう、必要があれば教師自ら質問をして、全ての意見の具体的な内容を理解できるようにする。	
11/18(水) 20分休み	○リハーサル	・当日に自信をもって学級会に参加できるようにする。	

6 展開

(1) 本時のねらい

3年〇組のよさを生かして、音楽を通して全員で楽しめる「オリジナル音楽を楽しもう会」の内容や工夫を考えることができる。

(2) 児童の活動計画

第 7 回 3年〇組 学級会活動計画 11月 18日(水)

ぎだい	オリジナル音楽をたのしもう会をしよう		
ていあんしゃ			
ていあんりゆう	今年コロナウイルスで本校内音楽会が中止になりました。そこで3〇でオリジナルの音楽を楽しもう会を開きたいです。そうすれば本校内音楽会ができなくても3〇でくがして音楽をとおして楽しい時間をすごしクラスの仲間がはまると思います。		
話し合いのめあて	音楽を通して全員で楽しめる会のないようやくふうを考え意見をたそう。		
やくわり	司会	黒板記録	ノート記録

決まっていること 11月27日金曜日3時 時間目孝文室
プログラムに予定をいれるグループ発表はなし 全員で楽しめる内おもしろ

話し合いのじゆんじよ	気をつけること	時間等
①はじめの言葉 ②けいかくいいんのしょうかい ③ぎだいのかくにん ④ていあんりゆう ⑤決まっていることのかくにん	大きな声ではっきりいう めあてまできちんと言えるようにする あそさんかまたさん プログラムやじゃんびきかんカレンダーを 見せながら言う	5分
⑥話し合い <話し合うこと①> 何をするか	くぐべ合うから始める。 できるだけ多くの意見が聞けるようにする。 意見はありがたうございました。を言う。 黒板言已ろくをかくにんしながら進める ひつようなときは分るいける	15分
<話し合うこと②> 音楽を楽しむ くふう		15分
<話し合うこと③> ひつような 役わり	しかい★台めの言葉 役わりりの言葉プログラム は事前に決めておく。 わかりやすくはっきりと言う	5分
⑦決まったことのかくにん ⑧ふりかえり ⑨先生の話 ⑩おわりの言葉		5分

(3) 教師の指導計画

活動の計画	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
<p>1 はじめの言葉</p> <p>2 計画委員の紹介</p> <p>3 議題の確認</p> <p>4 提案理由の説明</p> <p>5 決まっていることの確認</p> <p>6 めあての確認</p> <p>7 話し合い</p> <p>話し合うこと① 「何をするか」</p> <p>話し合うこと② 「音楽を楽しむ工夫」</p> <p>話し合うこと③ 「必要な役割」</p> <p>8 決まったことの確認</p> <p>9 振り返り</p> <p>10 先生の話</p> <p>11 終わりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり大きな声で始められるように事前に励ましを入れる。 ・全員が把握できるように大きな声で言えるように事前に指導する。 ・提案理由が分かりやすいように3段階に分けた掲示を利用し、共通理解を図る。 ・プログラムに歌を入れること、内容は3つぐらい決め、グループでの活動は行わないことを再度確認する。 ・意見は事前に出させ、質問も済ませた状態で始められるようにする。 ・建設的な話し合いにするために、賛成意見の理由に注目するよう助言する。 ・意見には必ず理由も一緒に述べさせ、意見を発表した児童には司会から「ありがとうございます」を言うように助言する。 ・賛成意見がある程度絞られてきた時には、話し合いを焦点化できるように司会や全体に助言する。 ・焦点化した話し合いができるように黒板記録に分類や理由などを短冊に書いて貼れるように支援する。 ・提案理由やめあてから逸れそうになった場合は、もう一度立ち返れるよう助言する。 ・提案理由やめあてに沿った発言ができたり、まとめる意見を出したりした児童を評価する。 ・司会グループへのねぎらいをし、具体的に評価する。 ・次回の学級会への課題と、実践に対する意欲づけができる声かけを行う。 	<p>◎提案理由をふまえて、会の目的にあった種目や工夫、役割について考え、発言している。</p> <p>【思考・判断・表現】 (観察、学級会ノート)</p> <p>◎話し合いの進め方や約束を理解している。</p> <p>【知識・技能】 (観察、活動計画ノート)</p>

7 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
11/19(木) 学級の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを学級会コーナーに掲示する。 ・係の役割分担を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が会本番までのスケジュールを把握することができるようにする。 ・記録用紙を拡大し、見やすいように工夫できるように助言する。 	◎会の準備や実践に進んで取り組もうとしている。 【主体的な態度】
11/19(木) ～11/26(木) 学活1時間 休み時間	<ul style="list-style-type: none"> ・会の準備を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力や分担がしやすいよう、ワークシートを渡すなどして、助言、指導を行う。 	(観察)
11/27(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル音楽を楽しもう会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ子供たちの力で進められるように見守り、補助する。 	◎会の目的を理解し、友だちと協力して、責任をもって準備をしたり参加したりしている。 【思考・判断・表現】
11/27(金) 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・会終了後の感想記入やふりかえりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が会に向けてどのような態度で準備、参加できたかななどを自己評価できるようにする。 	(観察・ふりかえり用紙)